第8回 彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設整備連絡協議会 議事録

日 時	令和4年9月2日（金）午前10時00分～午前11時25分	
場 所	南地区公民館 大会議室	
出席者	協議会委員	19名（うち代理1名）
	事務局	彦根愛知犬上広域行政組合（近藤事務局長、杉山室長、宇野主幹、藤井室長補佐、鈴木副主幹、北川主査）

開会	
北川主査	<p>それでは、時間がまいりましたので第8回彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設整備連絡協議会を開催させていただきます。皆様方には大変お忙しいところ、ご出席をいただき、ありがとうございます。</p> <p>まず、議題に入ります前に皆様のお手元にございます資料の確認をさせていただきます。</p> <p>まず、1枚目は本日の次第となります。次に資料1-1と書かれていますのは、新ごみ処理施設に求める付帯施設についての資料となり、資料1-2は参考イメージの資料となります。</p> <p>次に資料2と書かれていますのは、次期の連絡協議会委員名簿案となります。</p> <p>加えて、9月4日に予定しております環境影響評価準備書に関する住民説明会のチラシをお配りしております。よろしいでしょうか。</p> <p>なお、本日の協議会は、お昼の12時を目途に終了したいと思いますので、ご協力いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、議題へ進みたいと思います。会長よろしく願いいたします。</p>
会 長	<p>コロナ禍ですので、マスク着用での会議となりますが、説明やご発言が聞きにくくなるなど、ご不便をお掛けする場合がございます。ご理解の程よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、議題（1）「新ごみ処理施設に求める付帯施設について」事務局より説明をお願いいたします。</p>
議題1（資料1-1～1-2に基づき説明）	
北川主査	<p>それでは、新ごみ処理施設に求める付帯施設について、説明をさせていただきます。お手元の資料1-1新ごみ処理施設に求める付帯施設について、資料1-2参考イメージをご覧ください。今回この場では整備する施設に付帯する施設について皆様からご意見をいただきたいと考えております。新たに整備する施設はこれまで運用されてきた施設とは違い、環境学習や地域の拠点となり得る施設として整備していきたいと考えております。今後、施設の整備に向けて事業者の選定を行っていくことになるのですが、その際に施設整備の仕様書となる、要求水準書というものを作成していきます。この場でご出しいただいた意見すべてをその要求水準書に反映させていくわけではありませんが、少しでも皆様の期待にこたえられる施設とするため</p>

にも、ご意見をいただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

本日は、資料1-1にありますように、環境学習の機能、防災の機能それに加え、地域の交流機能の3項目についてご意見をいただきたいと思っております。なお、今回お示しする資料はあくまでイメージであることをご了承ください。

まず初めに、項目1の防災機能についてご説明します。新しい施設では焼却による熱を利用した発電や給湯を検討しており、災害が発生した際には、避難所として地域の方々に活用していただくことを想定しております。通常時は施設の見学等で利用する研修室などを避難スペースとして活用することや、キッチンスペースや入浴、シャワーが利用できる設備を検討しております。また、参考イメージ①、②にありますように、備蓄倉庫を設け、防災用品を備蓄することを検討しております。

次に項目2の環境学習機能ですが、イメージ③、④にありますようにごみ処理施設への理解を深めてもらうために、施設見学をしていただける見学ルートを整備することを検討しております。これまで、皆様にも視察いただいた施設にもありますような、設備の大きさを体感していただけるような展示や、視覚的にもわかりやすい設備の整備を検討しております。

また、粗大ごみとして捨てられるものの中には再生利用可能な物も多くあります。再利用可能な物を修理し、展示販売することでごみの減量につなげていくことを目的にイメージ⑤にありますような、修理工房などの整備を検討しております。

加えて、自然観察、生ごみの減量、清掃活動などの環境保全活動をしていただいている団体の方が、活用できるようなスペースを整備し、そういった活動の拠点となるような施設とすることを検討しております。

最後に項目3の地域の交流機能についてですが、イメージ⑥にありますような荒神山の情報や、地域の情報を知ることのできる場や、トイレなどを併設した「山の駅」を整備し、荒神山を訪れる人や、地域に来られた方が立ち寄れる施設の整備を検討しております。

また、イメージ⑦にありますような、施設内には図書スペースを設け、環境に対する情報を発信するだけでなく、荒神山を含む地域の魅力を発信する場の整備も検討しております。

その他には、イメージ⑧にありますように、地下調整池を設置するスペースには、テニスコート・フットサルコートを整備し、平常時は地域の方々にスポーツを楽しむことのできる場を整備することを検討しております。また、こちらのスペースについては、万が一の大規模な災害が発生した際には、廃棄物の円滑な処理を行うために、災害廃棄物の仮置き場として利用することも検討しております。詳細なことが決まりましたら、関係する皆様にはご相談させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

また、イメージ⑨にありますように、施設の余熱を利用した足湯を整備し、地域の方々や、周辺地域を訪れる方の憩いの場となるような場の整備も検討しております。

最後に、駐車場についてですが、施設の駐車場は、隣接します荒神山神社を利用される方や、荒神山をウォーキングされる方なども利用していただけるようにし、より多くの方にご活用いただけるように検討しております。

	<p>以上で、付帯施設についての説明とさせていただきます。ご意見よろしくお願いたします。</p>
<p>質疑応答</p>	
<p>会 長</p>	<p>それではただいま説明いただきました内容についてご意見をいただきたいと思ます。</p> <p>それぞれ目的が異なるので、1, 2, 3に分けてご意見またご質問をいただこうと思ます。</p> <p>なお、委員の皆様からご意見いただく場合につきまして、ご発言の際は、委員のご所属とお名前をご発言のうえお願いしたいと思ます。では、ご意見、質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>まず、1番避難所機能について、これまで施設見学等に行った経験や、またご希望される内容についてご意見いただきたいと思ます。お願いします。</p>
<p>杉山室長</p>	<p>会長、1点よろしいでしょうか。建設推進室の杉山でございます。避難所のスペースとかザクっとしておるところで、どういったことを質問したらよいのかということについても今お考えいただいていると思うんですけども、1点こちらとしまして、この新ごみ処理施設、水害にも耐えられるような、地震とかにも耐えられる施設にしていくんですけども、実際にこのエリアで避難される場合ですけども、彦根市さんにお聞きしてますと、自主的に自分の近いところ、避難所になっているような、一時避難場所になっているようなところ、判断いただいて避難されるというふうにお聞きしているんですけども、そういった災害が起きた時にお住まいのところ、ご自宅から実際この避難所ともなる新施設まで避難される距離とかもありますし、水害が、宇曾川ももし氾濫するようなことが想定されるようなとき、警報、避難の指示が出た時に、実際避難される地域かどうかというところで、避難所として付帯施設も検討していかなければならないのかなと思っております。避難所の施設となることについては、色々な説明にありました通り見学の際に使用いただくような大きな会議室などを施設として考えているわけですけども、それも避難いただけるエリア、避難されると想定されるような方がどれくらいいるのか、ということもこちらでも想定したいなという思いがありまして、それに合わせて、施設の会議室等の広さであったり、数というのも検討したいと考えておりますので、どうでしょうお住まいのところから、水害であったり避難しなければいけない時に、新ごみ処理施設が選択されるエリアかどうかというのを確認させていただけたらと思ますので、ご意見頂戴したいと思ます。</p>
<p>会長</p>	<p>皆さんご意見等ありましたら手を挙げていただきたいと思ます。お願いいたします。</p>
<p>委員 1</p>	<p>私稲枝地区なんですけども、まず、彦根市さんにお聞きしたいんですけども、災害起こった時の避難は今稲枝東小学校になってますけれども、もしここができれば、ここで避難する方が近いので、稲里としては、その場合彦根市として近いところへ避難すればよいのか、あくまでも稲枝東小学校に避難するのか、そこらへんはどうなんでしょうか。</p>
<p>彦根市危機</p>	<p>いま、稲枝東小学校しか開いていないという状況から、このご質問だと思うんです</p>

管理課	<p>けれども、災害、土砂災害であったり地震とかありますけれども、その時発生すると、エリアの人数大体把握するわけですけれども、そういった人数に応じて、まず、ひとつは、場所の選定をすることになりまして、おおむねが小学校でありますとか、公民館が開設の優先順位に上がってきます。といいますのは、もう一つは避難者を受ける際の人の確保というところもございまして、スムーズに開設できるのが、小学校であったり公民館ということになりますので、そこを優先的に開けているのが現状であります。ただ、震度7とかですとね大規模な地震が市域で全体にわたって起きるような場合は、今指定しております避難所が63、4くらいあるんですけども、そこが大体、一斉に、状況にもよりますが一斉に開くというようなイメージでお考えいただければと思っております。本当は、避難される方からすれば、最寄りのところがまず先、一番望まれるところではあるんですけども、ちょっと現実的な話でいきますと、運営ですね。管理者さんと開設運営に携わる職員の確保とかもありますので、現状としては小学校、公民館が優先されているというふうなところです。</p>
委員1	<p>現在はそうだと思うんですけども、この処理施設がね、オープンした時には、ここが避難所となるわけですけれども、そうすれば稲里はここへ避難するのが一番近いわけで、その場合、エリア、亀山学区になるんですけども、それはオッケーですかね。</p>
彦根市危機管理課	<p>今おっしゃいました、少しその職員というか施設の方に管理者さんが多分ここは24時間いらっしゃるとお思いますので、人員の確保が整えば開設する対象、優先的に開けられる対象とはなると思っております。あとはその土砂災害の場合であるとか、水害のリスクとかを考えて、どこを開設するかはその時の警戒体制とかですね、本身体制で判断していくことになります。</p>
委員1	<p>色々わかるんですけども、せっかくここを避難所スペースとして作るのであれば、ここを一番に開けていただきたい。そのために、作っていただけたらと思っておりますので、作った方がいいが人員の確保が出来ないもったいないわけですので、作るためにはやっぱり、まず人員確保をして、災害が起こればこの近くの者がここへ避難できるようにしていただきたいと思っております。それとまあ、昔は宇曾川も何回も切れてまして、山崎も清崎も水害に見舞われてますので、まあ河川改修はされましたので、ないとは思いますが、万が一起きた場合ですね、ここもごみ処理施設も多分水没すると思われるんですけどもその点はいかがでしょうか。</p>
杉山室長	<p>はい、まず一点目の災害協力体制ということで、当組合としましては、入札公告につきましては、災害スペース、避難所機能としても使えるようなもので整備していくということで、もちろんそれを承知のうえで受けていただく、プラントメーカーに整備してもらい、そして運営していただくということで考えておりますので、年に何回されるかわかりませんが、災害、防災訓練もこの施設の中でやっていく中で、避難所として開設する訓練なんかも、組合の方でやっていきたいと考えておりますので、彦根市さんの避難場所になるような施設として、また彦根市さんとの協議をこれからしていきながら、なるべく皆さんに貢献できる施設にしていきたいと思います。</p> <p>水害については今、計画盛り土の高さにつきましては千年に一度の水害が起きた時のあのエリアで想定される水位に、余裕高として今60cmというふうにご検討お</p>

	<p>りますけれど、余裕高をみた盛り土をしていくことになりますので、水没するというようなことは、想定されないということです、安心して避難していただける施設にしていきたいと思いますと考えております。</p>
委員 1	<p>まあ、せっかく、避難所をもし作っていただけるのでしたら、有効活用していただけますようによろしくお願いいたしますと思います。</p>
会長	<p>どうぞ委員 2 さん。</p>
委員 2	<p>先ほど稲里の地元の方からもお話しがありましたように、一応避難場所が危機管理課の方で指定していただいているのですが、2つ質問があります。1つは、ごみ焼却施設に伴って、避難所機能を備えるということなんですけど、当初建設費用の概算見積が 200 億という話がありましたけれども、この 200 億の中に避難所機能は入っているのかどうか。入ったの見積が 200 億なのか、入ってなくてさらに予算が膨らむ可能性があるかどうか。2つ目なんですけど、ごみ焼却施設イコール避難所機能を備えるということになれば、私そもそも荒神山のすそ野に作ることで非常に危険な場所に作るということで、荒神山のすそ野に作るということと、それから宇曾川に近いということと、逆に避難所機能を備えるというけれども、地元住民からすれば危険な方向に向かって避難をするということになってしまって、果たしてそれでいいのかな、というふうに素朴な疑問として思います。そういう点では、彦根市の危機管理課の方も今日出てきてもらってますけれども、そこを避難場所として指定することがふさわしいのかどうか、ちょっと、私自身は一般的な考え方として疑問に思わざるをえないんですけれども、ちょっと彦根市の方としてどう考えておられるのか聞きたいと思います。以上2つお願いします。</p>
杉山室長	<p>まず、1点目ですけども、当初の施設整備費につきましては、施設自体の整備、プラントとあと建屋ですね、リサイクル施設と熱回収施設を整備していくための整備費用ということでございます。含まれているかということですがこの中には管理棟とか設けない形での見積をいただいていることになりますので、今新たに計画しておりますのは、管理棟を別に設けて、そこで広域の議会なんかでもできるような会議室等を作っていくというところで、改めて検討しているところでございますので、当初の 200 億にそもそもが入っているかということ、入っていないということでございます。ただ、当初から災害に強い施設を作るということで、避難施設のことを考えておりましたので、管理棟を作らない場合であっても環境学習機能として設ける予定であった、そうした会議室を利用いただくとするならば 200 億には入っているというようなものでありますけれども、今はさらにそれよりも大きな管理棟を別に設けていくという形で、そちらで避難できるスペースの方も確保していきたいと考えておりますので、現状では当初よりも新たに整備費用を考えているというところでございます。</p>
彦根市危機管理課	<p>危機管理課でございます。今ご質問いただきました2番目のことですね。避難所指定の条件的なことになりますけども、まず1つは、耐震基準というところで、昭和 56 年に定められた建築基準法の耐震基準を満たしているということで、選定をすることになります。それから、災害の種類でいきますと土砂災害というのがございますけれども、それが土砂災害警戒区域、いわゆるイエローゾーンといわれている区域を含ん</p>

	<p>でない部分を避難のスペースとすることとしています。もう一つは、水害につきましても、例えば浸水の想定した深さによって変わってきますけども、施設自体は、避難所であっても水害の場合の避難は、例えば2階しか使えないであるとかそういったシミュレーションに基づいた、浸水深を基に使用できる部分を選定することで、他の避難施設の方も指定の方を行っているところでございます。以上です。</p>
委員 2	<p>1つ目は結論的に言えば、200億の予算の中には入っていないということ、とお返事だったと思います。2つ目なんですが、私もう一つ理解しがたいんですが、一般的な感覚としては、その施設の中についてしまえば安全なのかもしれませんが、逆にあの危険な方向に向かって、住民がこう避難せざるを得ないような状況になってしまうのではないかとということで、まあ非常にあの危惧するという立場で、質問をさせていただきました。ちょっと今危機管理課のほうからお答えいただきましたけれども、ちょっと要領をもう少し理解できませんでした。ごめんなさい。ありがとうございます。</p>
彦根市危機管理課	<p>あの、すいません。今施設を選定する際の条件といたしますか、基準は地域防災計画の方に定めておりますので、それを申し上げたわけですけども、実際の避難される際なんですけども、危機管理課としては、避難の、高齢者等避難、避難指示等を段階に応じて出していくわけですけども、できるだけ、実際には被害が、例えば決壊したとかですね、そういった状況になる前に、できるだけ早めの指示を発令させていただきたくて思っておりますので、その段階でまずは逃げていただくということが、必要になってくるかと思えます。それから、仮に避難のタイミングが遅れてしまった場合などは、例えば安全な家屋であれば、2階に避難していただくとか、土砂災害でございましたら、その斜面からできるだけ離れていただくとかいう選択になってくるかと思えます。危機管理課としては早めの避難指示とかを出させていただいて、危ない所を避難していただくということをできるだけ避けたいと考えているものでございます。以上です。</p>
委員 2	<p>こういう会議ですので、事務局の方も事前に提案をしていただけるのなら、彦根市の危機管理課の方と、そういう提案をして大丈夫なのかどうか、ということを綿密に打ち合わせのうえ、自信を持って提案できるように今後お願いしたいと思います。なんか、住民が危険な方向に向かってこう避難せざるを得ないような感覚が僕自身は一般的に持つてしまうんですけども。あの、そういう提案をしても良いかということも含めて、こういう会議の前にきっちり担当課と詰めて自信を持って提案できるようにお願いしたいと思います。ありがとうございます。以上です。</p>
委員 3	<p>ここは避難施設という想定もあるのですが、各地域にも避難施設があり、各小学校区やこの災害備蓄品はどれだけ持ってこられるかはわかりませんが、想定避難人数というのは大体わかると思うんです。ここから拠点として発信されるのかもしれませんが、あまり備蓄量をオープンにしておられるのかわかりませんが、確か危機管理課の方でこれとは別にですよ、今、災害備蓄だけを言っておられるんですけども、確か医薬品の発信拠点というのが確かあったと思うんです。あの、医薬品はここに持ってきて各避難所からそこへ取りに行って貰うというような、確かそういう制度があったと思うんですが、それをここに持っていくという様な形には</p>

	できないのでしょうか。予定に入っているのかどうかお聞きします。
杉山室長	今、医薬品のこともお伺いしましたけれども、本日はそういったご意見を頂戴しながら、備蓄倉庫についてもスペースもどれくらい設けていく方がよいかというところで検討したいと、資料にさせていただきたいと、思っておるんですけども、そのあたりどうでしょう。危機管理課の方は。
彦根市危機管理課	今、備蓄につきましては、市内で南分署と西沼波の方に市の備蓄倉庫はあります。で、それ以外にも、今度プロシードアリーナというもうすぐ12月に開業する施設の方にも備蓄の方させていただきます。備蓄品を色々多種、購入の方はして備えるようにはしておりますけれども、スペース的なことがございまして、なかなか今一杯な状況ですので、この新しくできたら処理場の方にも備蓄をさせていただきたいと思っております。ただ、今何を置くかですね、そこまでは、まだ詳細なことが決まっておりませんので、それについてはまた、相談の方をさせていただいて、必要なものを備蓄させていただきたいと、ただ、あまり偏りとかですね、この品目だけがここにあるということになりますと、市内縦長、結構面積、距離もありますので、できるだけ、できれば分散の備蓄に努めたいとは考えております。
会長	他にご意見ありませんでしょうか。どうぞ、お願いします。
委員4	今、災害の話が出ているんですけども、特に水災害が起こった場合ですね。家の2階に取り残されたりとか、っていう方が出ることが想定されるんですけども、そういった方を避難するために、ヘリポート等を設ける計画とかあるのでしょうか。
会長	事務局お願いします。
杉山室長	今、現状ではヘリポートまで想定しておりませんでした。今ご意見頂戴しましたので、できるかどうか、可能かどうかということについても検討すずめて参りたいと考えております。
会長	他にご意見ございませんでしょうか。どうぞ、お願いします。
委員5	まず、お聞きしたいのは、この施設、避難場所としたいのか、緊急避難所としたいのかということです。というのは、防災の備蓄を置くということは、例えば、1カ月とか2カ月とかそういう長期間にわたって避難される場所というのを想定されているかどうかということですね。といいますのは、先ほどデニスコートとか、フットサルコートとかの場所を、「例えば災害廃材の仮置き場に持ってくる」というような話もありましたので。そうしますとそこに避難で何カ月間おられる場にとっては、煤塵のこと、臭気、衛生のこととかですね、そういうことも考えられますので、どちらを想定されているのかなとというのが1点でございます。 それと、ちょっと水害がと心配されている地元の方もいらっしゃいます。今のご意見もありましたので。それでまだ、盛り土がどれくらいなのかというの、決まっていないような説明でしたので、それがどれくらいになるのかということで、その面積の、田んぼが無くなりますのでね、本当に水害が起こらないのかどうか。それとか盛り土の高さによって、擁壁がどれくらいの高さになるのか、既存の集落の地上のどのレベルのところから、どれくらいの高さになるのかご説明いただけたらなと思います。よろしくお願いします。
会長	事務局お願いします。

杉山室長	<p>緊急避難場所と、長期の避難所として機能するのにかにつきまして、当施設については電気はごみを処理することによって発電できるということで、避難していただくところについては冷暖房も付けられるような施設になってまいります。また、シャワーとかそういったものも必要ということであれば、そちらでお風呂、長期の場合は、お風呂なんか入っていただけるようなものにもしていけるというふうに考えておりますけれども、それも皆さんどのようにお考えかというところ、本日意見お聞きできたらなど、長期期間での、災害といいますか、避難を望まれるということであれば、そういった形に整備していかないといけないというふうに思っておりますし、また、体育館での長期の避難と比較いただいたときに、こちらにも長期の避難ができるようなものが必要というふうなことであれば、そういった形での検討を進めたいというふうに考えているところでございます。水害についてですけども、盛り土高さというのは今申しました通り、千年に1度の浸水深、予定されている一番最大の3mという形、田んぼの面からですけども、3m以内ということでございますが、それよりも60cmの余裕高をみるということですので、施設自体が浸水するということはございません。盛り土面積が、今田んぼのところ盛り土をしていくというところでございますけれども、今の候補地については、水害になっても、ずっとそこに水が溜まるというようなものではなくて、琵琶湖の方へ抜けていくというような地形になっているということでございますので、現在、浸水の継続時間でも12時間以内には、50cm未満の浸水の高さになっていくというようなエリアということで、滋賀県さんの方が示されているということでございますので、全然盛り土をすることによって浸水の深さが変わるというものではございませんので、その辺はご理解いただきたいと思っております。また、盛り土のところ擁壁をしていくというのではなくて、法面で斜めになっていくような盛り土ですので、圧迫感というものもないものというふうに考えております。</p>
会長	よろしいでしょうか。
近藤局長	<p>すいません。今の件でちょっと補足といいますか、こちらの考えなんですけれども。避難場所なんですけれども、おっしゃられますように、指定緊急避難場所、一時的に逃げるところと、避難所生活する避難所っていうのが、法で指定される形になっておりまして、この場所につきましては、長期間、例えば3カ月とか1年とかゆうような生活をしていただくというような場所では無いかかと、思っております。一時的に、地震が起きた時は、建物に入れなくても、安全な平場であるフットサルコートとかいつでも入っていただいて、そこで身を守るということもできますし、建物が開きましたらその中に入っていただくこともできますし、地震なんかの場合でも、市内で備蓄している3日間の備蓄生活ができる、あとは外部からの物資が届く1週間程度、そのあたりまでの避難生活というものが想定できると思っておりますが、それ以外になりますと、市の防災計画の方で指定の避難場所というものを定めて、現在は中学校、小学校というところで定められておりますので、避難される方のサービスの面からも、ある程度まとまった生活をしていただいて、そこにサービスを集中させるというような、防災時の方策を取っていかれると思っておりますから、長期の被害に遭った時には、どこかに集まっていただくことになるとは考えております。ただ、ケースバイケースでその</p>

	<p>時の時点で、出来る限り長く安全に居ていただけるようにとは考えておりますが、基本的には、指定緊急避難所ということで、一時的に身を守る場所というような想定をしているところですので、よろしくお願いいたします。</p>
委員 5	<p>緊急避難所、ケースバイケースで臨機応変に対応できるような形でということと理解いたしました。もう一つ、擁壁ではなくて法面処理をするということで、その施設の建物の配置とかもそれに基づいて土地利用していただくということで、設計、計画されていかれると思います。あと、そこが千年に一度の水害にも耐えられるというよいこととお聞きしましたがけれども、前回の時もまだ流域とかもこれから調べていくような話をいただいたと思うんですけれども、そういうことは流域の面積がどれくらいになるのかということも把握されたうえで、ということでもよろしいのでしょうか。ただ、現在、造成計画図とか排水計画図とか縦横断面図とかそういうなのをお示しいただいてない状況ですので、なんとも状況がつかめないなかで、現在の災害の時のというようなごみ処理施設の計画でいけますよというお話ですけれども。そのあたり、田が造成されて宅地に変わって、現在の集落にとって危険が及ばないかどうかというところがちょっと心配するところですので、造成したところはもちろん水害がもちろんないんですけれども、周りの集落に水害とか及んだ時、それがちょっと心配ですのでそちらの方をですね、どういうふうに排水処理されていかれるのかなと。本当に、市の都市計画課さんと相談されて、「調整地まではいらないということを知った」ということですが、流域も何もわかっていない段階で、そういう話を本当にされたのかどうかということ、まあちょっと前前から疑問に思っておりますので。そういう造成で、本当は「田」が、今現在「池」の役割をしているわけですよ。その池の役割がなくなってしまうので、そのあたりしっかりと災害が起こらないような形にさせていただけたらなと思います。</p>
近藤局長	<p>ありがとうございます。そういった被害がないように、造成設計等も進めていきたいと思っております。現在、水の流れというのは変えるということではございませんし、今保水されていた部分につきましては、テニスコートやフットサルコートの下に、調整池を設けますので、そこにそれ以上の水が溜まるような設計にはしておりますから、貯められる水は以前よりも増えるということで、ご理解いただけたらと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。はい、お願いします。</p>
委員 6	<p>今、いろんなご意見出て避難スペースとかいう部分の確保のお話したと思うんですけども、私もイメージで思うんですけど、こういう水害とか床上浸水が何百戸となった時に、大量のごみが出るというところで、よくニュースなんかでもごみの収集のキャパを超えて、道に色んな家財道具が散乱して、それが何カ月も置いてあるという状況がニュースで流れたりしてたと思うんですけど、やっぱり今回もごみ施設というのは、今のキャパではちょっと対応できない。今後、特に災害に遭った時に、本来の使命として大量に出たごみを処理して元の生活に戻すというのも、本来の今回のごみ施設の増設というか、新設にもあると思うんで、確かに避難スペースとかそういう部分は、大事なんですがそれはあくまでも付帯施設という部分で考えて、それも一部有効的に使えるんだったら使うということで、進めていただいた方が、本来のこのご</p>

	み施設の使命であるごみをいかにスムーズに処理して、地域に貢献するかっていう部分で考えていただいたらいいかなと私は思います。以上です。
会長	ご意見としていただいたらよいですか。はい。
委員 7	この資料なんですけど、図がないから、どれだけのイメージをしていいかわからない。こういう施設のどの辺に考えておられるか、前多分あったと思うんですけど、その資料付けてもらいたいです。避難スペースがどれぐらいの規模になるのかとか、そういったこととかもしっかり説明をしていただきたいと思います。で、あとハザードマップありますよね彦根市の。この地域が、その水害が起こった時に、どれだけの被害を及ぼす地域、施設になるのか、そういうことも説明してもらいたいです。あと、多分湿地帯なんで、水がどっかから流れてきていると思うんですけど、荒神山の方からがけ崩れが発生するということはないでしょうか。山の裾に作るということは非常に危険を伴う、そこが果たして避難場所として妥当な物かどうかっていうことも、それももう一回考えてもらえればなと思っています。
会長	事務局よろしくお願ひします。
杉山室長	申し訳ございません、配置図等今検討中というところでございますけども、皆様にお示しできず大変申し訳ないんですけども、避難所としてのスペースにつきましては、こちらどれくらいの方がここへ来ていただける、避難を望まれるものなのかというところが、まったくわからないという状況ということで、それに合わせた、避難される方がどのエリアの方が、自分の場所だ、避難する場所だというふうに思っていたか、というところに合わせた避難スペースにしていきたいというふうに考えているところです。それに必要な分の会議室等をこれから検討していくというところでございますので、そういった図面等、建物の図面とかそういったものはまったくなくて、本日またご意見いただくことをもとに、それに合わせて施設を確保できるように、要求水準書の方には、記載をしていきたいと考えております。また、荒神山からのがけ崩れ、候補地の北西部の一部が、土砂災害の危険個所ということで指定されているということで、運動場のスペースにしていきたいというところで検討しております。今想定される場所、危険個所については、重要な施設とは建っていないということで、候補地の南側の方に施設が寄ってくるものだと想定しているんですけども、その他のがけ崩れにつきましても、我々もシミュレーション、大丈夫かどうかというところはしております、影響のないところに施設が建っていくもの、というふうに考えていますので、そのあたりは避難所としても十分、一時避難場所としても十分に利用いただけるようになってくると考えております。
会長	よろしいでしょうか。はい。お願ひします。
委員 8	今の避難所の件なんですけども、避難所作られるのは良いことやと思うんですけども、どれくらいのところから来られるのかはこれからやというお話でございますけども、亀山学区で言いますと、亀山小学校が避難所になっておるわけですけども、ここへ来るまでに宇曾川がありますので、宇曾川が決壊とか距離もありますし、委員 2 が最初言われていたように、危険な方に避難してくるのかということもあります。それと、ここへ来る、宇曾川だけやなしに、隣の山崎山です、あそこです、7、8年前に宇曾川の左岸、堤防のところです、あそこ、山裾が自然崩壊したということ

	<p>で、3年ぐらいかかって直してもろたということもございました。そこがまた出てくるかもわからん、そういうふうに崩壊してくるかもわからんということもあります。そうなった時に、当時は西清崎の小学生、子供たちがですね、遠回りして学校まで通ったということもございましたので、避難して来られる方がどういう経路で来られるのかとか、その辺の危険も十分調査をしていただいて、県とか市と打ち合わせをしたうえでやっていただきたいなと思いますので、よろしくお願いします。</p>
会長	事務局をお願いします。
杉山室長	<p>ありがとうございます。今、おっしゃっていただきました洪水、亀山学区、今は亀山小学校が避難所という形になっておりますけれども、我々としての想定としましては、洪水が起こるということで避難勧告等出るような場合は、やはり宇曾川の右岸からは、我々の施設の方に避難される方というのは、まあ、だいぶ早い段階で避難の指示のところも出てくることかと思うんですけど、望まれないのかなという様なところもございまして、今想定できる場所としましては、日夏町島の飛び地、左岸の部分であったり、西清崎周辺の地域であったり、稲里町の山崎、今稲里町さんの方からは、稲里町全体的な避難場所に持っていききたいなというところを、今お聞きしましたので、そのあたりまでの想定になるのかなというふうに思っているところもございまして、その人数に合わせた避難スペースとしていけるかどうか、ということもありますので、また彦根市さんとも十分協議しながら、どれぐらいの収容スペースが取れるか、取っていけるかどうかということも合せて協議していきたいと考えております。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。他に避難所機能についてご意見等、ご質問等ありましたらお願いしたいと思いますが、どうぞ、お願いします。</p>
委員 9	<p>電気、温水があるよということなんですけども、例えば処理場へのごみの搬入が途絶えると、災害が起きたらそういうこと起こると思うんですけど、その時点で何日間ぐらい、発電続けることができるんでしょうか。燃料がなくなると思うんですね。その辺の想定を教えてくださいなと。で、それ以上に避難所として機能さすのであれば、電気の備蓄というのとも考えといてもらわないといけないのかな、というふうに思いますんで、そこらへんのシミュレーションというか、そういうこともきちっとやっていただければなと思います。意見ですけど。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にご意見等ありませんでしょうか。</p> <p>私からですが、避難するためには道を通ってやってくるということで、今はまだ無いアクセス道路、こちらに向かうについて、そちらの建設についての時に、安全対策というかそういうことも、していただく、そちらは彦根市ということになるかと思うんですが、その辺も検討していただくと良いのではないかなと、安全に避難できる道路の建設ということも大切なこと、ちょっと私思いましたので、併せてお願いします。</p> <p>ただいまいただいた意見をもとに、災害時の避難所としての機能が充実するようにお願いしていきたいと思います。続いて、2番の環境学習機能について、ご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>いかがでしょうか。委員3をお願いします。</p>

委員 3	先進的な処理場見学へ、以前に行かさせてもらって、そういうところは良いんですけど、既存の施設には、よく環境学習機能とかいって、ただ単に施設の見学とまわりにパネル展示してあるだけというところが多々あったんです。今、子供たちとか、我々一般人が学習しに行ったときに、現場のプロセス、工程を見るだけじゃなしに、見た感じと体験できるようなもので、一気にわかるというか知らせる、環境とか資源の大切さというのを知らせるようなものを作っていただきたいと思います。以上です。
会長	他にありませんでしょうか。いかがでしょうか。はい、どうぞ。
委員 9	環境保全で自然観察というふうになってるんですけど、計画の中ではないですけど、ビオトープを作ろうとかって動きをさせて頂いてますけども、自然観察を活かして、施設としてなにか取組等される予定はあるのでしょうか。その辺をお聞かせいただきたいです。
会長	事務局お願いいたします。
杉山室長	今ほどおっしゃっていただきました、西清崎のまちづくりの事業プランということで、自治振興策の中では、ビオトープを整備を事業の中でしていくというふうに、今計画いただいているところでございます。それにあわせてこちらとしましては、自然観察会をできるように、あとまた、今の既存の水路についてもそのままの形で利用、残すということもありますし、他にもハンノキの保全エリアということで、蝶々の一種のミドリシジミが幼虫の時に食べる、ハンノキを残していくというところで、そういったところも観察ができるような機会を設けるという形で、この自然観察会をそういった団体様の方で計画いただいたときにご利用いただける施設、そういった環境学習のスペースというのを設けたいというふうに考えているところでございまして、施設側としましては、そういった必要となる、会議室、研修室等を今必要かなというふうに考えているところでございます。またあと、機材等で自然観察会とかに使用される物についても、こちらで用意できるものは、プロジェクターであったりとか、そういったところについてもこちらで、全て整えていきたいというふうには考えているところでございます。
会長	よろしいですか。
委員 9	自然観察会等の設備っていうのを作っていただくのは、それはそれで良いんですけど、ちょっとお聞きしている方では、周辺の河川であるとか、ビオトープであるとかっていうのを、西清崎の方で、何とか維持してほしいということをお聞きですけれども、西清崎も結構人も減ってきてまして、かなりそういったものを維持していくのに、人をかけられない部分がたくさんありますので、施設の職員の方にお手伝いをいただくとか、そういったこともちょっとお考えいただければと思いますので、よろしくをお願いいたします。
杉山室長	今整備いただくのは、この街づくり事業のプランの中でということでございますけども、維持管理していくことにつきましては、会長が所属する団体さんのメンバーであったり、滋賀県立大学の学生のそういったグループと共同するということと、彦根市さん、そして我々組合の方も一緒になって、ビオトープを長期間ずっと管理していくという形で考えているところでございますので、またご協力させていただき

	たいと考えております。
会長	よろしいでしょうか。他に環境学習機能についてご意見等ございませんでしょうか。お願いします。
委員 7	環境保全の中で、生ごみの減量ってあるんですけど、どういった活動を考えておられるのかっていうのをちょっと聞きたいなと思います。それと、施設の見学の中で、大概の施設はピットの上から見るっていうことがほとんどだと思うんですけど、もっと詳しくどういった仕組みになってて、中身の見学ってできるようなことは、出来るんでしょうかということもちょっと聞きたいなと思います。燃えているところとか、ピットの底に溜まった生ごみはこんなですよとか、なんかそういった映像を映すとか。あと来ないとわからないじゃないですか、こういったとこって。それをWEBで発信するとか、そういったことも。今度は犬上全域になるのでね、皆さんに知ってもらって、ごみをいかに減量していくかっていうことは、非常に大切だと思います。そういったことをちょっと一回考えてもらいたいなと思ってます。
杉山室長	<p>まず、1点目。生ごみの減量についてなんですけども、本日委員としても欠席いただいています、〇〇委員さんが所属されてる団体として、簡易生ごみ処理、バケツでEM菌を利用して、たい肥化されてるという団体さんがございまして、〇〇委員からもそういったところで、簡易生ごみ処理についての、啓発ができるような施設を設けていただくことが可能かというような、ご意見を頂戴してたことから、先に案として挙げさせていただいたものでございますので、そのあたりも、そういった取り組みが進むような啓発を今検討しているところでございます。それと活動できるスペースも設けていくことができればな、というふうには考えているところでございます。</p> <p>確かに仕組みとか中身というのを見ていただきたいところではございますけれども、実際にその炉の燃えているところというのは、管理室なんかでは、モニターで表示されていたのを見ていただいたかと思っておりますけども、他には、炉のそばで厚いガラス張りになっているところを開けて見られるようなところもあるというふうに、我々も確認しているところでございますけども、そういった形になってくるのかなと思っておりますが、ただ、今申されましたWEBでの配信は面白いと思っておりますので、モニターで映せるということは、そのデータを流していくというようなことは可能かと思っておりますし、ピットの底がどうなってるのか、確かに気になる場所ですので、そういったところについても検討はしたいと思っておりますけども、ただ、本日もいろいろとご意見頂戴してるものすべてを、施設整備に反映できるかといいますと、なかなかそれが難しいのかなと思っておりますので、本日いただいた意見につきましては、入札公告につける要求水準書に、本日の意見を取りまとめまして、資料として添付させていただいて、それに合わせたプラントメーカーからの提案を受けて、それを事業者の選定委員会で評価していただくということになりますので、いただいた意見がどれだけ反映されているか、というところが評価、点数に現れてくるものだと思いますので、プラントメーカーとしてもそのあたりは、反映できるような提案をしていただけるものだというふうに考えておりますので、本日は出来る限りたくさんのご意見頂戴出来たら、そういった思っていたような施設になってくるということも考えられますので、忌憚のないご意見を、もう少し時間がありますので頂戴できた</p>

	らと思いますので、よろしくお願いたします。
会長	他にありませんでしょうか。委員9お願いたします。
委員9	施設の見学ポイントということで、WEB配信というのも一つかと思いますが、施設そのものの、重要箇所の点検口というか、そういうようなものは設けられると思うんですね、カメラだけじゃなくて実際に目で見ると、施設管理される方がね、そういう場所があるかと思うんですけど、その辺の一般公開というか、危険がない範囲で見学できるように、見学コースというか、そういうなことをやっていただけたら、だいぶまた実感というのが湧いてくるんじゃないかなというふうに思いますので、ちょっとまあ検討していただきたいなと思います。
会長	お願いたします。
杉山室長	今も貴重なご意見いただきました。通常みられないようなところ、確かに見学できると、なかなか常にできるようなところはないかもしれませんが、そういった機会が設けられれば、非常に良いのかなと思います。そうしたものにつきましても要求水準書の方には書かせていただきたいと思ひますし、今の施設見学に行っても、現場の臭いなども全然感じないような見学ルートになつてくるかと思ひますので、やはり燃やすごみを処理するようなところはかなり臭いがします。容器包装プラスチックの処理施設もかなり臭いは現場ではするようなことになるかと思ひますので、そういった現場で働く人たちはそういった臭いにさらされて、そういった環境の中で仕事をしているというところについても、小学生の見学していただける方にもやっぱり知っていただきたいという思ひもありますので、そういうふうなところもなんか工夫をした見学とかできるような施設になるように、要求水準書にも書かせていただきたいと思ひます。
会長	他にありませんでしょうか。私からよろしいでしょうか。 京都の南、守山、草津先進地研修ということで行かせてもらって、色々感じてきた中からなんですが、いずれの所も、小学校また中学校と連携して環境学習をしていく、そういう取り組みをされていたということ。それと大人の人も来てもらって、よく理解できる、ごみの問題について意識啓発できるそういうふうな取り組みをされていたということで、その辺のところはやっぱりこの地域、彦根愛知犬上の中でも、より広く、大人も子供も学べるそういう環境学習施設となることを願つて。そのためには、何回も来れる、一回だけでなくということをおもっています。守山で感じたことは、隣にある施設と連携して、環境学習、その中でごみ問題についても取り組むということで、そういった広くごみ問題も含めた様々な環境学習の拠点としても位置付けられるんじゃないかなということをおもいます。それと何回も来たくなるということの中で、京都では煙突に展望台を設けるという工夫もされていて、なかなかすごいことをやっておられるなと感じました。ということで、広く市民町民の皆さんに何回も来ていただく、その中で、ごみの問題、様々な環境問題について学んでいくそういうふうな場所となっていくことを願っています。たくさん言つて申し訳ありません。他の方、お願いたします。
委員5	いろいろご意見頂戴したいということでしたので。ビオトープを設置していただいて、ハンノキの保全もしていただくということで、まあ結構かと思ひます。それと、

	<p>荒神山は低い山ですし、ハイキングというか、ちょっと登っておられる方もたくさんおられまして、そこへ林道に接続する道を作っていただけたらなということを思っています。現状は天満橋から島の区域内に墓地があるんですけども、そこからの登り口でずっと登って行かれる、歩いて行かれるんですけど、車の駐車場ね、墓地の駐車場に皆さん置いていかれて、天満橋の所までずっと車が並んでいるという状況です。駐車場の整備もこの施設でしていただけるといことですので、そこからの山へのアクセスも考えていただけると良いのかなと思います。荒神山は私も登りまして、この前フクロウも見ましたので、そういう自然観察というか、その縦へのアクセスというか、そういったことも考えていただけたらなと思います。よろしくお願いします。</p>
会長	事務局お願いいたします。
杉山室長	<p>今申していただいたような形については、これからまた検討していきたいということで、街づくりの事業プラン、西清崎の皆様ともまた協議をしながら、そういったところで出来たら良いかなというふうに考えておりますので、頂きました案として承りたいと思います。</p>
会長	<p>いかがでしょうか。</p> <p>では三つ目の地域の交流機能に関して、ご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。</p>
委員 3	<p>地域の交流機能ということですけども、ちょっと行政組合の今の計画より拡大してしまうんですけども、ごみ処理施設の建設予定地と宇曾川との間がまだ田んぼのままの状態のところが何か所かありますね、1町ぐらいになるのか知りませんが。あそこを完全に埋め立ててしまって、スーパー堤防みたいにしてあそこを公園化して人を集めるというような感じにしていっていただければどうか。資料案に山の駅とか書いてありますけれども、荒神山の反対側を通過しているピワイチのサイクリングしておられる方のサイクリングのセンターみたいなものも一緒にあそこへ作っていただければ、人が集まる施設というような感じになってくるんじゃないかなと思ってるんですけど。ちょっと今の敷地からまた広がるんで、市で別にやってもら得るのかどうかわかりませんが、今の野瀬町にあるのがちょうどこの前に、庄堺公園があるように、その様な感じで新たに西清崎のところに作っていただければ嬉しいなと思っております。以上です。</p>
会長	事務局お願いいたします。
杉山室長	<p>今おっしゃっていただきました、施設と宇曾川の間の今の現状田んぼの所ですけども、そこにつきまして今、西清崎の自治会様のまちづくり事業のプランの中で、有効な利用を検討いただいているところがございますので、西清崎の自治会様の中で、どういった事業をされるかによるところがありますので、ちょっとこちらで公園化というようなところは今、考えられないところではございますけれども現状ご理解いただきたいと思います。</p>
会長	<p>他にご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>では、1、2、3全体を通して繋がるものもあるかと思うんですが、全体を通して付帯施設ということに関して、ご意見ご質問等ありましたらお願いしたいと思いま</p>

	す。
委員 10	この施設共通として、医療、応急、救急関係いわゆる避難場所の中に当然、部屋、恐らく 10 坪ぐらいあれば十分だと思うんですが、どの症状の人が避難されても、臨時のテント張って救急応急をやられると思うんですが、専用の部屋、これだけ部屋、場所があったら人が出入りされますので、どっか一室計画された方が良いかなと思うのと、おまけですが、足湯は温泉にならんかなとそれだけです。以上です。
会長	事務局お願いします
杉山室長	貴重なご意見ありがとうございます。確かに小学生とかの見学の際に、いつでも応急処置ができるようなところ、保健室のような施設がやはり必要なのかなと今改めて思いましたので、そのあたりも、要求水準書には書いていきたいと考えております。足湯、温泉が出るかどうかというところはあるかもしれませんが、今現状で考えております、水道水を有効利用していこうという形で焼却熱を利用したり、冷却機とかで利用した熱を利用して、水道水の方で検討しているところでございます。温泉という様な形にはなかなか難しいのかなと思いますけれども、憩いの場となるような場所、またあと、滋賀県さんが取り組んでいただいているピワイチで、休憩していただけるような場所にも、一緒にタイアップしながらできていかないかなということで、協議を進めたいと考えておりますので、よろしくお願いいいたします。
会長	はい、他にございませんでしょうか。 では、無いようでしたら次の項目へ移らせていただきます。よろしいでしょうか。 では、議題 2 その他ですが、事務局から報告事項等でございますでしょうか。
議題 2（資料 2 に基づき説明）	
北川主査	議題 2 その他ということで、事務局から 2 点報告をさせていただきます。 まず初めに連絡協議会の委員改選について説明させていただきます。資料 2 をご覧ください。 前回連絡協議会でご説明しましたとおり、みなさまの委員任期は令和 4 年 10 月 11 日までとなっております、区分の 3 号の委員の皆様については、施設近隣の連合自治会長にアンケート調査を実施し、選出する委員についてご意見を伺いました。その結果を踏まえ、新たに名前が挙がった自治会に対し、委員を選出されるかどうか意向確認を行いました。その結果、稲里町上平流自治会、稲里町下平流自治会、日夏町安田自治会、日夏町筒井自治会の 4 つの自治会から新たに委員として協議会に参画したいとの回答がありました。つきましては、次回以降は、資料 2 の委員で連絡協議会の方を開催していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいいたします。 また、この後、各自治会等に委員の選出依頼を送付し、新たな委員を選出していただいて、新たな体制で進めていくこととなりますので、皆様よろしくお願いいいたします。 続いて 2 点目についてですが、お配りしております青いチラシ環境影響評価準備書に係る住民説明会についてのお知らせです。すでにご承知おきの方もおられるかもしれませんが、環境影響評価準備書に関する住民説明会を 9 月 4 日（日曜日）午前、午後の 2 回に分けて、南地区公民館で開催します。また、準備書に対する意見書を 10

	<p>月 12 日（水曜日）まで受け付けておりますので、お知らせいたします。</p> <p>以上、事務局からの報告となります。</p>
<p>質疑応答</p>	
会長	委員の皆様から質問等ございましたらご発言をお願いします。
委員 1	委員の名簿なんですけれども、稲里町上平流と下平流はもう確定、決定でよろしいですか、来月から。
北川主査	はい、そのような形で進めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。
委員 1	もう一点なんですけれども、9 月 4 日の環境影響評価準備書の説明会なんですけれども、前回示していただきました括弧素案と、今度素案がないわけなんですけれども、中身的に変わってるところはあるのでしょうか。
杉山室長	中身的にはほとんど変わってるものではございません。ので、ほぼ同じということでございます。
会長	他に、ご意見等ございませんでしょうか。お願いします。
委員 5	今の説明とはちょっと外れるんですけれども、今日は都市計画課さんは来られてないので、確認できないんですが、市の都市計画決定で、そのアクセス道路のことについても意見を求められてる期間やと思うんですけれども、その確認をさせていただきますんですが、組合さんとも協議して出されてると思うんですが、稲枝側ですね、既設道路は石寺稲里線だと思うんですが、そこと接続した形で都市計画決定をしていこうとされてるのか、接続してるのかしてないのかだけちょっと確認をさせていただきますと思います。お願いします。
会長	事務局お願いします。
杉山室長	我々が聞いてるところによりますと、この新たに整備される市道につきましては、都市計画道路の位置づけではないということで、都市計画決定をされるものではないというふうにお聞きしているんですけれども、詳細なところはまた確認したいと思います。
委員 5	すいません。是非とも接続した形で計画をしておいていただきたいなと思います。
会長	<p>よろしいでしょうか。他にご質問等ありませんでしょうか。</p> <p>本日は、新ごみ処理施設に係る付帯施設ということで、避難所機能、環境学習機能、地域の交流機能について、皆様からたくさんご意見をいただきました。本日の意見等が実際の付帯施設に反映されますように、どうぞよろしくお願いしたいと思います。意見等もないようですので、本日の議題はすべて終了いたしました。事務局へお返しします。</p>
<p>閉会</p>	
北川主査	<p>委員の皆様、長時間にわたり熱心にご議論をいただき、また、様々なご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の協議会を終了したいと思います。お疲れさまでした。</p>